

コンバートEV 1時間ディスタンスチャレンジ

手作りのコンバートEV(電気自動車)による1時間ディスタンスチャレンジ。バッテリーの種類により鉛電池クラスとリチウムイオン電池クラスの2クラス設けます。ドライバーは何人乗りかえてもOK。地球温暖化クイズの結果を成績に反映するところまでは従来通り。今年から1周1kmのコースに変更! 作戦も見どころのEVによる新しいモータースポーツです。

●トライアル内容

- ・1周約1kmのサーキットを1時間で何周できるか競います(クラス別)。
- ・チャレンジ達成賞を設けます。各チーム自らが設定した目標を達成できるかチャレンジします。
- ・1チームのドライバーは2名以上。ドライバーの人数は無制限。
- ・ピットイン5回以上を義務づけます。ピットインの際に必ずドライバー交替をしてください(ピットイン時の停止義務時間はありません)。
- ・レース中のバッテリー交換、および充電は禁止(レース中以外でも許可のない充電は禁止)。
- ・レース前に「地球温暖化クイズ」を行います。不正解の場合は1周減算。

●参加車両

- ・コンバートEV(市販エンジン車をEV<電気自動車>に会員が自ら改造したもの)で、日本EVフェスティバル・トライアル特別規則書に準拠した車両(2010年より改定)。
- ・バッテリーの種類により、鉛電池クラスとリチウムイオン電池クラス(鉛電池以外のバッテリー)の2クラスを設けます。バッテリー搭載量、総電力量によるハンディは設けません。
- ・使用できるバッテリーは1セットのみ(レース中の交換、充電禁止)。
- ・車両重量は、コンバート前の車両重量の1.5倍までとします。

●エントラント(ドライバー)

- ・車両1台、ドライバー2名以上、ドライバー数は無制限。ドライバー代表者(=申込者)は、日本EVクラブ会員に限ります。
- ・ドライバーは、普通免許所有者(フェスティバルなどEVレースの参加者、サーキット走行経験者)のぞましい。当日コースガイド(慣熟歩行)を行います。

●賞典

- ・ディスタンス賞: クラス別に周回数上位3位まで表彰。
- ・チャレンジ達成賞: チャレンジを達成できたチームをすべて表彰。
- ・いっぱい乗せたで賞: ドライバー人数(初乗りのみカウント)の最も多いチームを表彰。
- ・ファステストラップ賞(クラス混合)
- ・ベスト車検賞: 仕上がりが優秀な車両を表彰。

何でもEV展示&デモンストレーション

レーシングEV、電気バイクなどアイデア満載のEVの展示&デモンストレーション。

●手作りEV展示&デモ

- ・デモンストレーション: オバルコースを1周。
- ・参加車両: EVに改造した乗り物(カテゴリーは問わない)や、市販EVなど電気乗り物であれば出場可。ただし、コンバートEV、ERKのトライアルに参加しない個人所有のEVに限ります。
- ・エントラント: 車両1台につき展示者兼デモ走行者1名(日本EVクラブ会員に限る)
- ・賞典: パフォーマンス賞

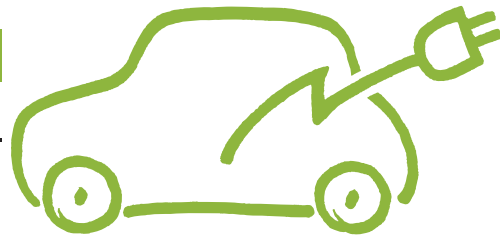
●最速EVデモンストレーション

- ・レーシングEVによる最高速デモ走行! コンバートEV、ERKも参加可能。学生フォーミュラーEV也大歓迎です!
- ・エントラント: 車両1台につきドライバー1名。ドライバーは、サーキット走行経験者に限ります。
- ※タイム計測はしますが、表彰はありません。出場台数を制限する場合があります。

EV(自動車メーカー製)オーナーパレードラン

自動車メーカー製量産EVで来場したみなさんのパレードラン

- ・コースを3周します(先導車付き)。
- ・自動車メーカー製量産EVオーナーであればどなたでも参加できます(事前申込が必要です。当日の参加申し込みは受付できません)。



ディスタンス
チャレンジ
コンバートEVは1時間
ERKは30分

コース2000開催時と
内容(ルール)は同じでも
コースが変われば
作戦も変わる!



エコカー試乗会

国内外メーカーの
EV&PHVに一気に乗り!
今年は試乗時間もたっぷりあり、
自分で運転できます。

環境EXPO / EV・エコカー試乗会

EVの最新情報と環境対応技術をテーマにしたブース。自動車メーカー・EV関連企業による、EV、エコカー、環境対応技術、次世代車等の最新技術に関する展示を行います。21世紀のモータリゼーションを拓く技術としてご覧ください。各ブースのプレゼンテーションの時間も設けています。

2014年出展例: (株)東京オールアンドデー、トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、本田技研工業(株)、三菱自動車工業(株)、ビーエム・ダブリュー(株)、フォルクスワーゲングループジャパン(株)、メルセデス・ベンツ日本(株)

◆EV・エコカー試乗会

メーカーEV・エコカーの試乗会を行います。※参加者に運転していただく予定です。試乗には筑波サーキット見舞金(傷害保険)の加入が必要です。1人500円です。

◆ベンチャーテント

環境対応技術開発に意欲的に取り組む、EVクラブ会員のベンチャー企業が出展。

◆支部テント

地方支部のテントを設け、独自の行動を紹介します。

会場が
筑波サーキット
コース2000から
コース1000に変更!

低速コーナーから高速コーナーまで
組み合わせられた1周1030mのコース。
ホームストレッチの全長は253mと
コース2000より30m短いだけ。
ピット屋上からコースすべてが
見渡せる楽しいサーキットです!



ERK 30分ディスタンスチャレンジ

手作りの電気レーシングカート(ERK)による30分ディスタンスチャレンジ。バッテリーセット数は無制限(バッテリー交換時の停止時間制限はなし)。ドライバーは何人乗りかえてもOK。ERKもコンバートEVと同様に、チャレンジ達成賞を設けます。リチウムイオン電池クラスは、バッテリー交換なしで走りきれるか?! 鉛電池クラスのバッテリー交換の技も必見です。

●トライアル内容

- ・1周1kmのサーキットを30分で何周できるか競います(クラス別)。
- ・チャレンジ達成賞を設けます。各チーム自らが設定した目標を達成できるかチャレンジします。
- ・1チームのドライバーは2名以上。ドライバーの人数は無制限。
- ・ピットイン5回以上を義務づけます。ピットインの際に必ずドライバー交替をしてください(ピットイン時の停止義務時間はありません)。
- ・バッテリーセット数は無制限。バッテリー交換時の停止義務時間はありません。

●参加車両

- ・ガソリンレーシングカートをEVに改造したもの。日本EVクラブERK車両規定(2011年クラス分け改定)に合致する車両。ERK1クラス(DCブラシモーター、鉛電池定格電圧48V以下、モーターおよびコントローラーの指定はなし) ERK2クラス(モーター自由、鉛電池定格電圧72V以下) ERKリチウムイオン電池クラス(ERK1、ERK2以外)
- ・30分チャレンジで使用できるバッテリーの電力量は、無制限(バッテリー交換時の停止義務時間なし)。

●エントラント(ドライバー)

- ・車両1台、ドライバー2名以上、ドライバー数は無制限。ドライバー代表者(=申込者)は、日本EVクラブ会員に限ります。
- ・ドライバーは、普通免許所有者(フェスティバルなどEVレースの参加者、サーキット走行経験者)のぞましい。当日コースガイド(慣熟歩行)を行います。

●賞典

- ・ディスタンス賞: クラス別に周回数上位3位まで表彰。
- ・チャレンジ達成賞: チャレンジを達成できたチームをすべて表彰。
- ・いっぱい乗せたで賞: ドライバー人数(初乗りのみカウント)の最も多いチームを表彰。
- ・ファステストラップ賞(クラス混合)
- ・ベスト車検賞: 仕上がりが優秀な車両を表彰。

コンセプトは
ピクニック?!
地元物産コーナーも!

土手から観戦したり
ガーデンテーブル&チェアでランチしたり、
モータージャーナリストによる
トークショーを見たり。
春の一日、静かなレースを
のんびりゆったり
お楽しみください。

コンバートEVも
ERKも
「チャレンジ達成賞」
に挑戦!

何にチャレンジするかは自己申告!
チャレンジを達成できたチーム
すべてを表彰!

CO2排出量を
診断しよう

自宅から
EVフェスティバル会場までに
排出したCO2を調べて、
CO2排出の少ない
交通方法について
考えましょう。

Reducing CO2コーナー

今回もまたフェスティバルのメインテーマは、Reducing CO2です。地球温暖化を少しでも遅らせるために、ぜひCO2排出量削減に取り組んでください。Reducing CO2テントでは、恒例のCO2排出量診断を行います。ご自分のCO2排出量を知る良い機会です。CO2排出量診断は、自宅から会場に来るまでに排出したCO2を診断します。CO2排出量のカウントは、使う交通機関でそれぞれ係数が異なります。徒歩や自転車、EVはゼロです。ご自分のCO2排出量を知り、CO2排出の少ない交通方法について考えましょう。

◆全員参加CO2排出量診断コンテスト

1人、1kmあたりのCO2排出量(移動距離の長短は関係なし)の低かったトップ1を表彰します(予定)。

※すべての競技の詳細は、日本EVフェスティバル・トライアル特別規則書に記載します。トライアル特別規則書は、エントリー申込者に配布します。※開催概要・参加要項の内容は、予告なく変更になる場合があります。

フェスティバル
総合賞
「あんたが大賞」

トライアルの成績、CO2排出量診断の成績、
ボランティアポイント、エントリーから
当日までのマナーポイントなどで
優秀なチームを表彰!
来年のエントリーフィーが無料に!

インターネット
中継をします!

(予定)

フェスティバルの映像を
英語とイタリア語で
世界に発信!